

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科					
科目名称	造園ガーデニング実習Ⅱ				授業形態	実習				
科目コード	710099	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	平岡 直樹、櫻井 清喜、岡島 直方、林 典生、木原 正雄、牧田 直子								ICT活 用	
授業概要	<p>造園系分野に必要な基礎的な知識・技術を習得すると共に、その考え方・視点を習得します。授業は2コマを1単元とし180分の実習となる。</p> <p>【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】</p> <p>造園の仕事で自営業をしている講師の先生お二人に、実務を踏まえながら造園の計画、施工、管理の技術をご教授いただく。</p>									
関連する科目	「造園ガーデニング実習Ⅰ」は必ず履修すること。後継科目は「造園施工実習」、「ガーデニング特別実習」である。									
授業の方法と進め方	<p>受講者をグループに分け、テーマごとに実施します。昨年度は3グループに分かれて実施した（第2～10回目はグループ毎で受講、実習内容によりグループ内でさらに分かれてローテーションで受講になる。第11・12回目は事前に希望するグループに分かれて実施、第13～15回は事前に希望する実習内容のグループに分かれて3回連続同じグループで実施）&lt;br&gt;目標としている課題を達成するための身体の動かし方を体験してもらおう。&lt;br&gt;実習内容は天候等の都合で変更する場合がある。</p>									
授業計画【第1回】	<p>オリエンテーション</p> <p>担当教職員の紹介、実習全体の流れの説明後、実習実施場所管理を行う。</p>									
授業計画【第2回】	<p>ガーデン整備</p> <p>造園ガーデニング実習Ⅰで学習したレンガ敷工や花壇管理を生かして、ガーデン整備を行う。</p>									
授業計画【第3回】	<p>石工Ⅰ</p> <p>造園ガーデニング実習Ⅰで実施したガーデン基礎Ⅰ・Ⅱを踏まえて、石工に使用する材料や工具・道具の使い方の確認を行う。</p>									
授業計画【第4回】	<p>石工Ⅱ</p> <p>石工Ⅰで学習したことを踏まえて、実際に石工の準備・施工を行う。</p>									
授業計画【第5回】	<p>管理Ⅰ</p> <p>学内にて管理に使用するトリマーや刈込はさみ及び脚立の取り扱いの説明を受けた後に、生垣を行う。</p>									
授業計画【第6回】	<p>管理Ⅱ</p> <p>樹木管理Ⅰで学んだことを生かして、安全管理を行いながら生垣管理を行う。</p>									
授業計画【第7回】	<p>石工Ⅲ</p> <p>石工Ⅰ・Ⅱで学習したことを生かして、石工の施工を行う。</p>									
授業計画【第8回】	<p>管理Ⅲ</p> <p>管理Ⅰ・Ⅱで学習したことを生かして、樹木管理を行う。</p>									
授業計画【第9回】	<p>機械・管理Ⅲ</p> <p>チェーンソー・高所作業車の使用について説明を行った後に、操作を行う。</p>									
授業計画【第10回】	<p>機械・管理Ⅳ</p> <p>フォークリフト・動噴の使用について説明を行った後に、操作を行う。</p>									
授業計画【第11回】	<p>学外視察・体験</p> <p>学外にある庭園やガーデンの視察を行い、場合により体験プログラムに参加する。</p>									

授業計画 【第12回】	大石組 大型クレーンを用いて、複数の巨石を用いた石組工を行う。
授業計画 【第13回】	グループ別実習Ⅰ 事前に担当教職員より説明を受け、受講生が希望する内容に分かれて3回連続して実習を行う。 昨年度は石工（生コンクリート打設工準備・施工）、樹木管理（準備も含む樹木掘取・移植）、機械復習（復習も含む機械操作練習、学外現場視察）、ミニガーデンづくり（ミニガーデン作成準備・施工）に分かれて実施
授業計画 【第14回】	グループ別実習Ⅱ 事前に担当教職員より説明を受け、受講生が希望する内容に分かれて3回連続して実習を行う。
授業計画 【第15回】	グループ別実習Ⅱ 事前に担当教職員より説明を受け、受講生が希望する内容に分かれて3回連続して実習を行う。
授業の到達目標	造園系分野に必要な、知識・技術および考え方・視点を習得することで、様々な現場や分野で活用できる人材を育てることを目指す。 【専門分野のスキル】 【コミュニケーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学習 【予習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 予定している実習内容について事前に調べるとともに、レポート作成に必要な植物材料（場合により道具）を実習1回につき3つずつ丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間30分程度） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
授業時間外の学習 【復習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 実習内容を思い出しながら丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間1時間） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
課題に対する フィードバック	実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となる。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘される。
評価方法・基準	毎授業開始・終了時のレポートチェック、最後にチェックしたレポートをまとめて提出し、そのレポートの内容（記載漏れによる減点含む）で評価の上、複数回実施する持ち物チェック・授業態度による減点、発表などによる加点による評価を行う（100点）。 レポート未提出の学生は成績評価対象外になる。各回レポートの提出をため込むと、提出レポートの枚数が増えるか、減点の対象になる。
テキスト	造園ガーデニング実習ノートおよび授業中に配布する資料など
参考書	多数あるので、授業中に紹介する。
備考	実習系の科目を体系的に取得してもらいたいので、初回に実習系科目相互のつながりについて説明を行う。 造園業に携わっている教員が授業を担当する。 持参物・服装等は第1回目のオリエンテーションにて説明を行うので、必ず出席すること。 体調を整えて、作成済みのレポートを持参して実習に参加すること